



グラバーが 運んだみらい展

蒸気のひみつ

PROGRAM

4.29(木・祝)~8.29(日)土日開催「特別展 グラバーが運んだみらい展 蒸気のひみつ」開催中。GW期間(4/29~5/5)、夏休み期間(7/22~8/26)は毎日開催。

講演会



トーマス・グラバーと 新しい時代の日本

8.14^土

13:30-15:30

グラバーの知られざる人物像について古写真を交えてご紹介します。

トーマス・グラバーが来日した頃、日本は長い鎖国時代から目覚め、欧米の先進技術を獲得しようとしていました。この需要に応じて、グラバーは炭鉱や造船の技術革新に必要な情報と機械を導入し、近代産業の発展に貢献しました。経済的な成功のみに関心を持っていた当時の多くの商人とは異なり、彼は言葉の壁を乗り越え、コミュニケーションを深め、真の友情を築くために努力しました。まさに、新しい日本の「架け橋」となった人物です。トーマス・グラバーの功績と共に、長崎の多彩な歴史を知っていただきたいと思います。

場所 6Fサイエンスホール

状況によりオンライン(ZOOM)実施になる可能性もあります。

対象 どなたでも

定員 250名

参加費無料 ※HPより事前申込み



講師

ブライアン・
バークガフニ氏

(グラバー園名誉館長
グラバーが運んだみらい展 蒸気のひみつ 監修)

カナダ出身。1972年に来日し、京都の妙心寺などで禅の修行を積む。修行の折に立ち寄った長崎で、この街の多彩な歴史と外国との深い関わりに感銘し、1982年から暮らし始める。現在は、グラバー園にゆかりの人々の研究をはじめ、国内街に長崎の歴史、文化を伝えるなど幅広く活動している。

